

2 2 . 森林昆虫類の保護・管理に関する調査研究

(2) 鳥類小動物生息調査

遠竹行俊

〔目的〕

スギ・ヒノキを病虫獣害から保護するため、試験林の施業林内において鳥類や小動物の種数や個体数及びその変動等* 息状況を調査し、病虫獣害の発生予察に役立てる。

〔方法〕

野鳥の生息状況は、春期の広葉樹展葉後の早朝ラインセンサスで、観察コース2、2kmを時速1.5kmで調査した。ノネズミは、スギ林とヒノキ林に各々50点の10m方形区のコドラートを設置し、100個の捕殺器を早春の他の動物の影響が少ない時期に、また、ノウサギは、ノネズミと同じ林分に3m×3mのコドラートを7～8個設置して、林床植物が繁茂する前の早春に糞粒数と食痕を記録した。

〔結果〕

野鳥の数種は24種、個体数は251羽で他の年に比べてほぼ例年並であった。観察された鳥種は多く出現した順にヒヨドリ、ホオジロ、シジュウカラ、メジロ、コゲラ、カケス、ヤマガラ、イカル、ハシブトガラスで、開放的な里山に代表的な種が多かった。その他の出現には、キセキレイ、エナガ、オオタカ、キジバト、トビ、スズメ、ヒガラ、カワラヒワ、ウグイス等が稀に記録された。

ノネズミは、アカネズミ2頭をスギ林(13年生)で捕獲しただけで過去最低の生息数となった。これは、前年の秋にコナラの実が全くならなかったことと関係があるように思える。

ノウサギは、設置したコドラートには全く出現せず、周囲の育種林等の解放的な林地に生息の痕跡が多くみられた。

表-1. 春期の鳥種

No	種名	個体数	優占度	No	種名	個体数	優占度	No	種名	個体数	優占度
1	臼刈	13.75	21.9	9	伽	1.75	2.8	17	林伽	0.05	0.4
2	林ツヨロ	11.75	18.7	10	ヅヅイ	1.0	1.6	18	抄外	0.05	0.4
3	ツユカフ	9.5	15.1	11	エガ	1.0	1.6	19	ヒ	0.05	0.4
4	刈	8.5	13.5	12	ヤガ	1.0	1.6	20	ス	0.05	0.4
5	エガ	4.05	6.8	13	ヒ	0.75	1.2	21	ヒ	0.05	0.4
6	カス	2.05	3.6	14	アガ	0.75	1.2	22	カフヒ	0.05	0.4
7	ヤガ	1.75	2.8	15	カヒ	0.75	1.2	23	ウイ	0.05	0.4
8	ヒガカス	1.75	2.8	16	サカウ	0.05	0.4	24	ヒ	0.05	0.4

個体数は4回の単純平均、優占度は観察全種の総個体数(62.75羽)に占める割合(%)
観察期間は6月3日と6月5日の早朝

表-2. 過去の優占度(上位10種)

調査年月日 [1987.5.20~21.]			調査年月日 [1988.5.17~18.]			調査年月日 [1989.5.16~19.]		
種名	個体数 (羽)	優占度 (%)	種名	個体数 (羽)	優占度 (%)	種名	個体数 (羽)	優占度 (%)
臼刈	20.0	22.7	臼刈	16.0	21.0	臼刈	18.3	20.6
林ツヨロ	10.5	11.9	林ツヨロ	9.0	12.0	ツユカフ	12.5	13.0
ツユカフ	9.0	10.2	刈	8.5	11.3	伽	12.5	13.0
刈	7.8	8.8	伽	6.8	9.0	林ツヨロ	9.3	10.4
伽	6.3	7.1	ツユカフ	6.3	8.3	刈	9.3	10.4
抄外	5.3	5.9	ス	4.0	5.3	エガ	4.5	5.1
ツ	4.0	4.5	カフヒ	3.3	4.3	エガ	3.0	3.4
エガ	3.0	3.4	抄外	3.0	4.0	アガ	2.3	2.5
ス	2.8	3.1	エガ	2.8	3.7	ヒガカス	2.3	2.5
カフヒ	2.5	2.8	臼刈	2.8	3.7	ヤガ	2.3	2.5
ウイ	2.5	2.8	ヒ	2.5	3.3	ウイ	2.3	2.5
総種数28種			総種数28種			総種数25種		
総個体数88.25羽			総個体数75.25羽			総個体数88.75羽		
調査年月日 [1990.5.28~29.]			調査年月日 [1991.5.14~15.]					
種名	個体数 (羽)	優占度 (%)	種名	個体数 (羽)	優占度 (%)			
臼刈	22.8	28.9	臼刈	17.0	22.0			
ツユカフ	9.3	12.2	林ツヨロ	12.0	15.0			
林ツヨロ	9.3	12.2	刈	9.5	12.3			
刈	8.8	11.6	ツユカフ	6.0	7.7			
エガ	6.8	8.9	ヤガ	4.0	5.3			
エガ	3.9	4.9	カフヒ	3.3	4.3			
伽	2.3	2.9	ス	3.0	4.0			
ヤガ	2.3	2.9	エガ	2.8	3.7			
ヤガ	2.0	2.6	抄外	2.3	2.9			
カフヒ	1.8	2.3	伽	2.1	2.0			
総種数21種			ヒ	2.1	2.0			
総個体数75.25羽			総種数25種					
			総個体数80.25羽					